

創

—第 80 回—

影響は指定ごみ袋まで…

「最近、別府市指定のごみ袋が小さくなった」「取っ手の部分が切れやすくなった」と多数のお声をいただいています。

私自身も使っていて袋を結ぶ時に実感します。これは全て可燃物ごみ袋（大）についてですが、実はロシアの軍事侵攻による原油価格の高騰と長引くコロナの影響により、今まで製造していた大分市のメーカーさんから受注できない旨の連絡があり、そこで急遽、全国の数少ないごみ袋メーカーと交渉し、なんとか大手のメーカーが請け負ってくれることになったのです。大きな世の中の動きが身近な市民生活にも影響しています。

とにかく欠品を防がなくてはならないので、そのメーカーにある他都市の型で製造



別府市長
長野 恭紘

せざるをえなかったため、今回の新形状となりました。言い訳がましくなりますが、全体の長さは縦も横も同じなのですが、結ぶ部分が長くなりました。容量約45リットルの基準も満たしています。問題は強度。

これまでの別府市のごみ袋は日本の中でもかなりの高品質でした。なので他の工場ではその基準の袋は製造できないとなった訳です。

しかし一度使った品質の良いものは忘れられませぬよね。来年4月からの新規契約に向けて改良を行なっていく予定です。

現在の社会情勢が続けばすぐには改善が難しいかもしれませんが、販売価格の値上げを行わない範囲内で努力していきますので、何卒ご理解よろしくお願いします。

(12月8日執筆)



フォトべっぷ



相手を思う日本語—11月27日、やさしい日本語発見交流会in べっぷを開催し、参加者がやさしい日本語落語やクイズを通して交流しました。また、留学生が日本語で母国をわかりやすく紹介したり、相手にやさしく伝える日本語について考えました。



日頃の活動が実を結ぶ—11月22日、青少年の健全育成を推進する第25回21世紀を担う別府っ子表彰式を行いました。今年も地域活動やボランティア活動に積極的に取り組んだ青少年2人と指導者5人、青少年団体5団体が受賞されました。



磨き続けた技能—11月29日、優れた技能を持った人を表彰する令和4年度別府市技能者表彰式を行いました。職種は様々で、今年は美容師や配管工、料理人などから技能功労賞8人と優秀技能賞3人が受賞されました。



初心者大歓迎—11月26日、別府競輪場のバンクや敢闘門、初心者ガイダンスをリニューアルオープンし、べっぷケイリンマルシェを同時開催しました。初心者ガイダンスの参加者は、競輪場スタッフから車券の購入の仕方などを丁寧に教わっていました。